

JR 広島病院

整形外科

【当科の特性】

整形外科は運動器である四肢（上肢・下肢）および脊椎の疾患を治療する診療科です。当科の特徴として、脊椎疾患が最も多く、つづいて股関節・膝関節疾患および外傷（高齢者に多い大腿骨近位部骨折が増えている）の研修が可能です。脊椎疾患は、脊髄・脊髄神経の圧迫による上肢・下肢のしびれや手足の運動障害を訴えて受診されますが、診断する上で神経内科疾患との鑑別が大切となり、今まで学んだ神経学を駆使して診断にアプローチする醍醐味があるとおもいます。また、高齢化とともに関節疾患や骨粗鬆症に関連した骨折が増加していますが、高齢者に寄り添う治療を行う事で、QOLを維持・改善し健康寿命に貢献できると思います。

【一般目標】

高齢化に伴う脊椎疾患・関節疾患および骨粗鬆症関連骨折についての診断・治療を修得すること。

【到達目標】

基本的診断手技（脊椎疾患・関節疾患）を修得すること。

基本的検査手技・処置（脊髄造影・神経根ブロック・ギプス・関節注射）を修得すること。

整形外科疾患の画像の読影を修得すること。

手術の見学を行い疾患の理解を深めること。

【注意事項】

清潔な服装を着用し、患者家族およびスタッフには礼節のある応対をし、個人情報の管理には留意すること。

【研習の内容】

外来 指導医の診察につき、問診聴取、神経学的診察および画像から診断をおこない治療方針の立て方を修得する

病棟 指導医のもとで患者を受け持ち、疾患を理解し治療方針を立て、患者家族と対人関係を築くこと。

手術 指導医のもとで受け持ち患者の手術の実際を見学する。

	月	火	水	木	金
8:00	抄読会				
8:30	打ち合わせ・回診				
午前	外来・手術	外来・手術	外来・手術	外来・手術	外来・手術
午後	手術	手術・ 病棟回診	手術	検査	手術
夕方		術前カンファレンス		脊髄造影後 カンファレンス	

【評価】

学生の評価は以下のように行う。

医療者としての姿勢、メディカルスタッフとのコミュニケーション (40)

経験した整形外科疾患の理解度、担当患者のプレゼンテーション (30)

学生用カルテの記載内容 (30)

【実習指導医】

佐々木正修 整形外科部長

日本整形外科学会認定整形外科専門医

日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医

日本脊椎脊髄病学会認定脊椎脊髄外科指導医

中村精吾 リハビリテーション外科部長

日本整形外科学会認定整形外科専門医

日本リウマチ学会専門医

日本リハビリテーション学会専門医

日本整形外科学会認定スポーツ医

村尾保 整形外科医長

日本整形外科学会認定整形外科専門医

藤岡悠樹 整形外科医長

日本整形外科学会認定整形外科専門医

日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医

日本脊椎脊髄病学会認定脊椎脊髄外科指導医

須賀紀文 整形外科医長

日本整形外科学会認定整形外科専門医

木戸佑基 整形外科医師